

カネカ有機EL照明

# KANEKA LUCE W1-WH/BZ/MS

## 施工要領書



安全にお使いいただくために	p. 2
1 本体と付属品の確認	p. 7
2 施工の前に	p. 9
3 各部の名称	p. 11
4 本製品の取り付け	p. 13

### 施工工事店様へ



- 施工の前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この施工要領書は、取扱説明書と共に、必ずお客様にお渡しください。

### お客様へ

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この施工要領書は、取扱説明書と共にお手元に保管してください。
- この施工要領書は、参考としてお渡しするものです。本書に記載されている作業などが必要となった場合、工事店にご相談、ご依頼ください。お客様ご自身ではおこなわないでください。

# 安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 <b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

次のマークは守っていただきたい内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。		指示に基づく行為の強制（実行していただくこと）を示します。
--	---------------------	---	-------------------------------




## 警告

 以下のような場所には取り付けないでください。


- 垂直でない壁
- 天井など壁以外の場所
- 段差のある場所
- 補強のない場所

落下によるけがのおそれがあります。

 発煙や異臭、電源コードの変形や電源プラグが発熱した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。


発煙、発熱などがおさまったことを確認して、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検、修理、交換をご依頼ください。

 次のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・内部に水や異物が入ったとき
- ・破損したとき


そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検、修理、交換をご依頼ください。

 本体の取り付けは一人で行なわないでください。

器具の落下による破損、けがの原因となります。










本製品は重量がありますので、最低でも2人以上で作業を行なってください。

 ACアダプタと本体との接続には付属のDC線を使用してください。

ACアダプタのDCプラグは本体のDCジャックに適合しません。

本体のDCジャックには必ずDC線のDCプラグを差し込んでください。

確実な接続ができないケーブルを使用すると、器具の破損、火災、感電の原因となります。

-  DC線は1本のみで使用してください。2本以上連結して使用しないでください。  
器具の破損、火災、感電の原因となります。
-  器具は、説明書にしたがって、正しく取り付けてください。  
取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
-  屋外への取り付け、使用はしないでください。  
水濡れなどによる感電、ショート、火災の原因となります。また、部品の劣化、破損の原因となります。
-  取り付け工事中に破損した本体、付属品は使用しないでください。  
破損したまま工事すると取り付けに不備が生じるおそれがあり、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
-  電源プラグは、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。  
確実に差し込んでいないと、感電や発熱による火災のおそれがあります。
-  電源コードを取り扱うときは、次のことをお守りください。
- ・加工したり、傷つけたりしない
  - ・加熱しない
  - ・重いものを載せたり、ドアなどにはさまない
  - ・無理に引っ張ったり、曲げたりしない
  - ・ねじれた状態で使用しない
  - ・束ねたりしない
- 充電部露出による感電、ショート、火災の原因となります。
-  コンセントの定格を超えないようにお使いください。  
タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
-  交流100Vで使用してください。  
過電圧を加えると火災、感電の原因となります。
-  高温になる場所（直射日光の当たる場所、ストーブのそばなど）に取り付けしないでください。  
火災、感電の原因となります。また、部品の劣化、破損の原因となります。



## 注 意

---



**正しく固定をして使用してください。**

正しく固定していないと、振動や衝撃、地震などにより本器具が落下して人体や動植物、財物に当たり、けがや損害を与えることがあります。



**本製品にぶらさがらないでください。**

破損の原因となることがあります。また器具の落下によるけがのおそれがあります。



**ものを立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。**

他のものがからまると、予想外の大きな力が発生し、器具の落下によるけがや破損の原因となります。

## その他のご注意

---

本体を強くこすらないでください。発光部は透明プラスチックを使用しているため、強くこするとキズの原因となります。

## 無線機器について

---

### ●機器認定について

本製品は、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、使用するときには無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本体およびリモコンを分解／改造する
- 本体およびリモコンに貼ってある保証ラベルをはがす

### ●周波数について

本製品は2.4GHz帯の2.4000GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

#### 本製品使用上の注意事項

使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の省電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品もしくは「他の無線局」の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

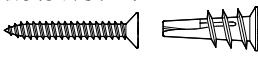

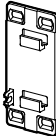
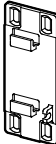
## 施工上の注意

---

- 本製品で使用している無線技術は、およそ10mまでの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって操作可能有効範囲は変動します。本体とリモコンとの間に障害物が入らないようにしてください。
- 本体とリモコンは、無線LANが構築されている場所や、電子レンジが使用されている周辺、その他電磁波が発生している場所などに取り付けると、電波干渉のため接続できなくなることがあります。電波干渉の影響を受けないように離してください。
- 本体およびリモコンが発信する電波は、電子医療機器など他の機器の動作に影響を与える可能性があり、事故の原因となる場合があります。  
病院内、自動ドア、火災報知機などの近くに本体を取り付ける場合は、他の機器に影響を与えないことを確認してください。

# 1 本体と付属品の確認

施工前に本体と付属品がそろっていることを、次の表でご確認ください。  
不足や破損などがあった場合は、弊社までご連絡ください。

名称	数量
本体	1
ACアダプタ（型名：UNI390-2437）※6	1
電源コード（型名：6WAK42722JP02P）※6	1
DC線（5m）※1	黒×1、白×1
取り付け用ネジ、アンカー※2 	各14
脱落防止用ネジ 	2
取り付け金具（右）※3 	1
取り付け金具（左）※3 	1
位置決め用テンプレートシート	1
リモコン	1
ワイヤクランプセット※1※4	黒×3、白×3
ワイヤクランプLセット※1※4	黒×3、白×3
単4乾電池※5	2
施工要領書（本書）	1
取扱説明書	1

※1： 取り付ける壁面の色などにあわせて、使用する色を選択してください。

※2： 石膏ボードなど、直接ネジによる固定ができない壁面に取り付ける場合にご使用ください。

※3： 取り付け金具（左）には「L」、取り付け金具（右）には「R」の刻印があります。

※4： クランプ上下、ワッシャのセットです。


※5： 付属の乾電池は動作確認用です。

※6： ACアダプタおよび電源コードは、付属品以外は使用しないでください。



## 警告

---

 DC線は1本のみで使用してください。2本以上連結して使用しないでください。  
器具の破損、火災、感電の原因となります。

ご注意

### ACアダプタおよび電源コードについて

この製品に同梱されたACアダプタおよび電源コードは、この製品以外の電気機器には使用できません。



## 2 施工の前に

### 製品仕様

#### ●本体

電源	ACアダプタ (入力 AC100V 50/60Hz共用)
消費電力	60W
本体サイズ	1,026mm (W) × 100mm (H) × 132mm (D)
本体重量	4,200g (取り付け用金具を含む)

#### ●リモコン

通信方式	無線式
使用周波数帯域	2.4GHz (2.4000GHz~2.4835GHz)
最大操作可能距離	約10m (可能距離は目安です。周辺環境により操作可能距離は変化する場合があります)
電源	単4乾電池 2本

## 本製品の取り付け場所について



### 警告

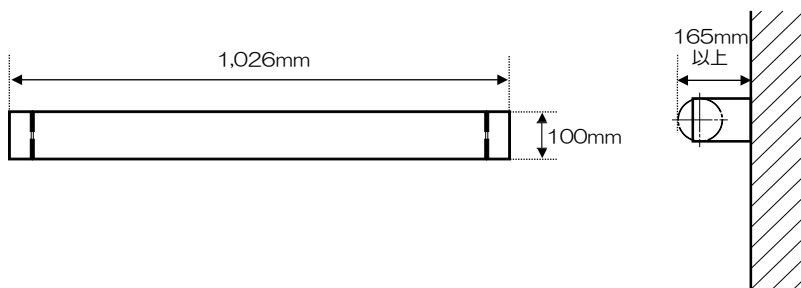


以下のような場所には取り付けないでください。

- 垂直でない壁
- 天井など壁以外の場所
- 段差のある場所
- 補強のない場所

落下によるけがのおそれがあります。

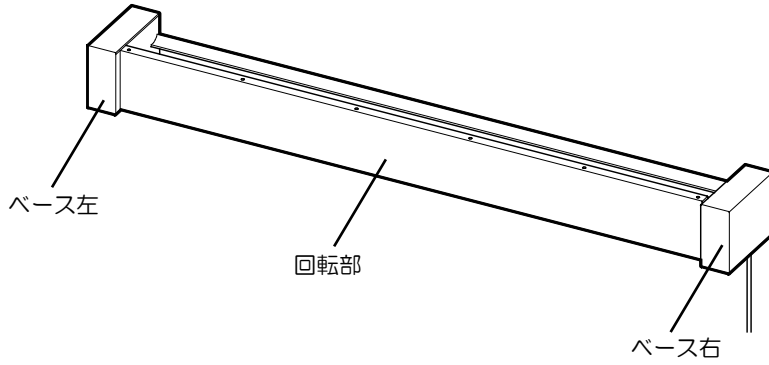
- ・ 取り付ける壁は、下地がありネジによる固定ができること、またはアンカー等の補助器具により適切な処置を行うことを確認してください。
- ・ 取り付け・運用に必要な空間は以下の通りです



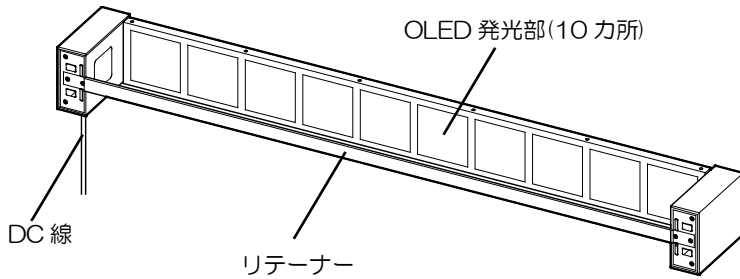
- ・ 気温 5℃～35℃、湿度 85%（ただし結露しないこと）

# 3 各部の名称

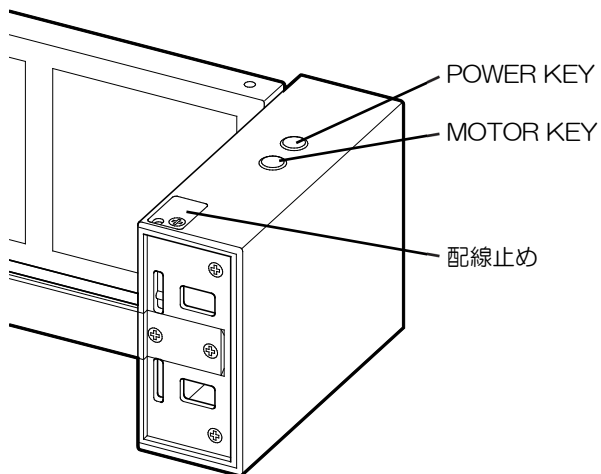
## ●本体前面



## ●本体後面

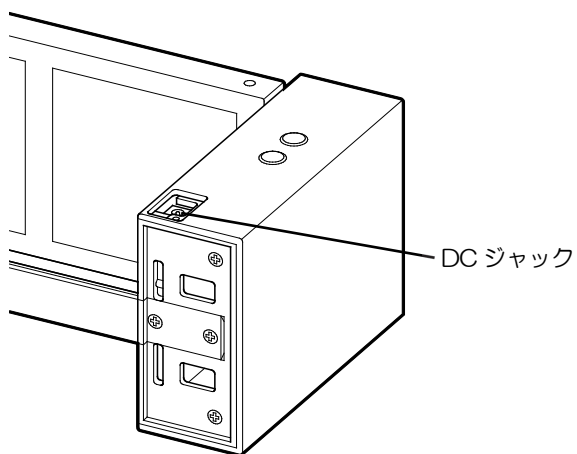


●本体下面（ベース右）



① POWER KEY	本体を点灯したり、消灯したりするときに使います。 点灯中に押すことで、明るさの変更もできます。
② MOTOR KEY	回転部を回転させるときに使います。

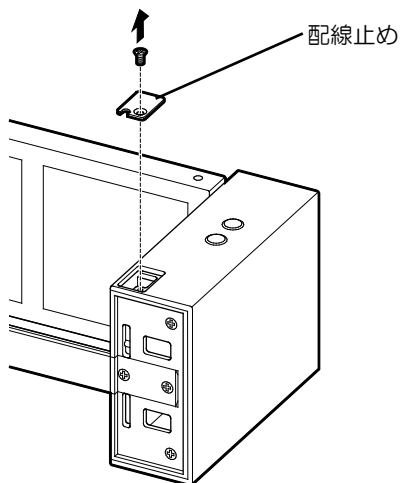
●本体下面（ベース右）配線止め内側



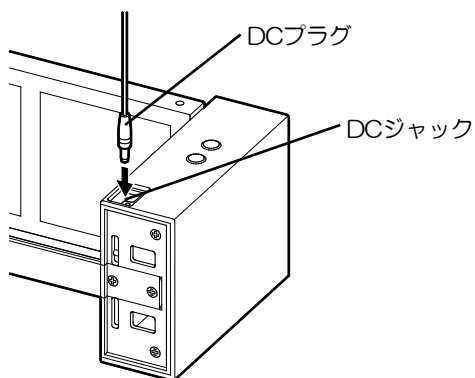
# 4 本製品の取り付け

## DC線の取り付け

- 1 本体ベース右下面の配線止めのネジを外し、配線止めを取り外す

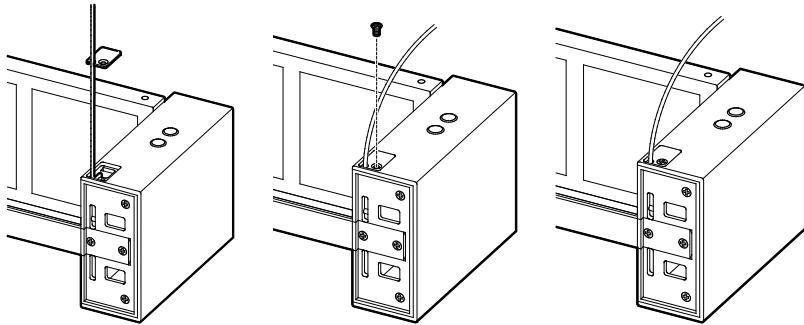


- 2 DCジャックにDC線のDCプラグを奥まで挿入する



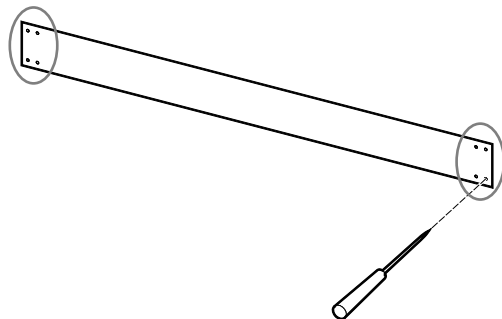
3

配線止めの穴からDC線が出るように配線止めを取り付け、外したネジで固定する



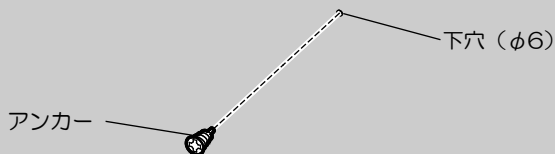
## 壁面への取り付け

- 1 付属の位置決め用テンプレートシートを取り付け場所に仮固定し、ねじ穴（8か所）に下穴をあける

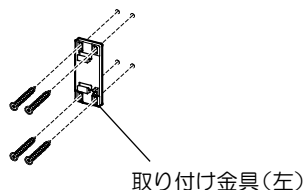


### ご注意

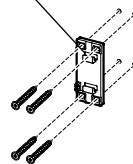
- ・石膏ボードなど、直接ネジによる固定ができない壁面に取付ける場合は、事前に付属のアンカーをご使用ください
- ・アンカーを使用する場合は、下穴にφ6のドリルで穴をあけ、アンカーをねじ込んでください。



- 2 位置決め用テンプレートシートを取り外し、下穴またはアンカーにあわせて取り付け金具（右）、取り付け金具（左）を壁にネジで固定する



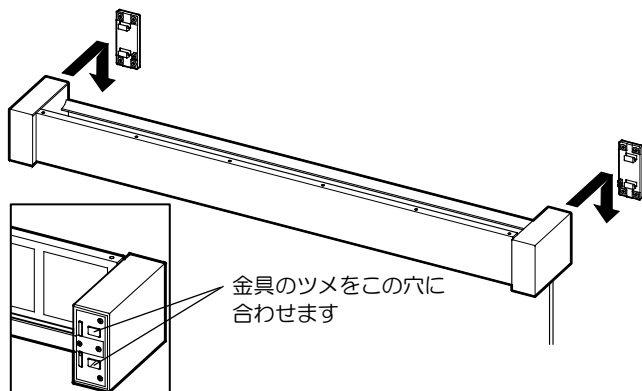
取り付け金具(右)



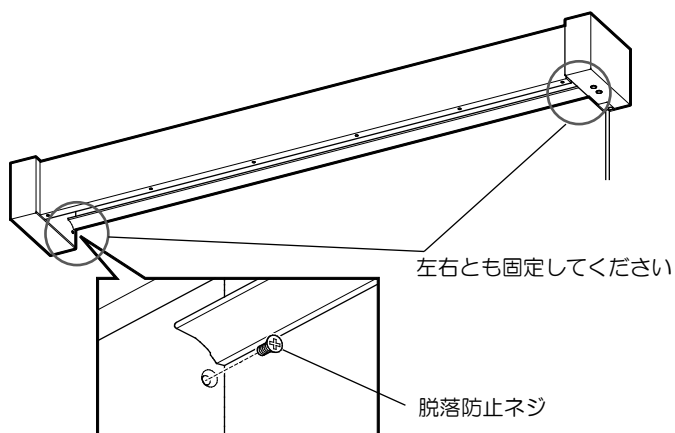
### ご注意

取り付け金具の左右を間違わないように注意してください。  
取り付け金具（左）には「L」、取り付け金具（右）には「R」の刻印があります。

**3** 本体ベース後面の穴を取り付け金具のツメにかけるようにして取り付ける



**4** 脱落防止ネジで本体と左右の取り付け金具を固定する



ご注意

脱落によるけがや破損の防止のため、必ず脱落防止ネジで左右とも固定してください。

**5** 取り付けた製品が確実に固定されていることを確認する

上下、左右、手前側、それぞれの向きに力を加えて、製品が動かないことを確認してください。



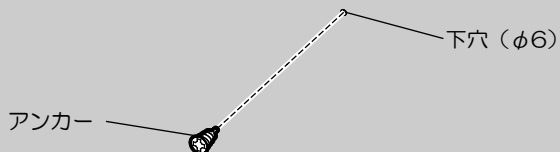
## DC線の固定

必要に応じてワイヤクランプを使用して、DC線を壁面に固定します。

### 1 ワイヤクランプを固定する位置に下穴をあける

ご注意

- ・石膏ボードなど、直接ネジによる固定ができない壁面に取付ける場合は、事前に付属のアンカーをご使用ください
- ・アンカーを使用する場合は、下穴にφ6のドリルで穴をあけ、アンカーをねじ込んでください。



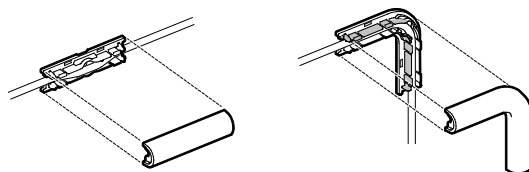
### 2 ワイヤクランプの下部部分を壁面に固定する。

壁面と下部パーツの間にワッシャを挟んで、付属の取り付け用ネジで固定してください。



### 3 DC線をワイヤクランプ下部パーツの溝にとりつけ、ワイヤクランプ上部パーツをかぶせて固定する。

ワイヤクランプ上部パーツは、パチンと音がするまで押し込んでください。



## ACアダプタの接続

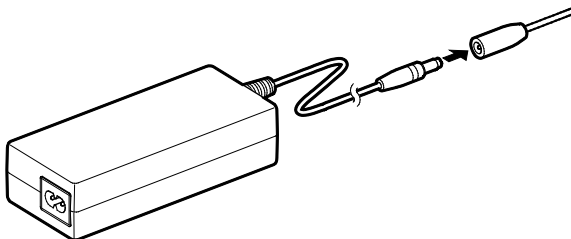
ACアダプタに、本体に接続したDC線と電源コードを接続し、電源コンセントに接続します。



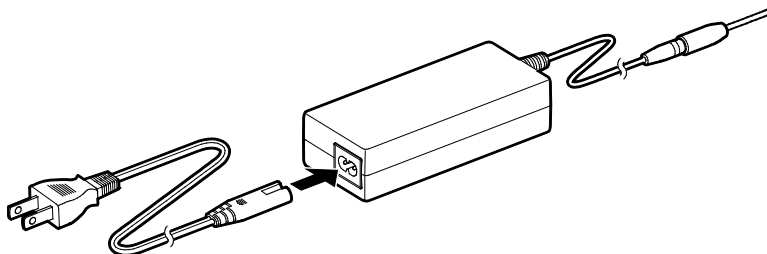
### 警告

⊘ DC線は1本のみで使用してください。2本以上連結して使用しないでください。  
器具の破損、火災、感電の原因となります。

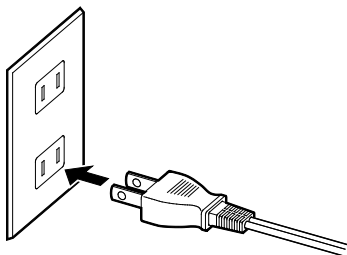
**1** 本体に接続した側と逆側のDCジャックとACアダプタのプラグを接続する



**2** ACアダプタに電源コードを接続する



**3** 電源コードをコンセントに接続する



## 動作確認

取り付けが完了したら、取扱説明書をご覧になり、リモコンで操作をして、明るさの調節、回転部の回転などの各機能が正常に動作することを確認してください。

KANEKA LUCE W1-WH/BZ/MS 施工要領書

Document No. OBD-106-002/001

2017年5月第2版

Printed in Japan

© Kaneka Corporation 2016-2017

株式会社カネカの許可なく複製、改変などを行うことはできません。

株式会社カネカ

OLED事業開発プロジェクト

〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32（アーク森ビル）

TEL (03) 5574-8009 FAX (03) 5574-6161